



もり 森林の風

特定非営利活動法人

森林の風

会長 瀧口 邦夫

2013.4.7 発行

第15号

だより

Spring has come



巨大なナラやマツがいなくなり低木たちに陽光が当たり
ぶきぶきと芽吹いてます。これくらいの高さなら、動物た
ちも匂の味覚を味わえます。人間も見て味わって楽し
む春♪

周りの土はこんなに乾燥しているのに、伐られた木はまだ根から水を
吸い上げあふれさせています。冬中機能停止していた木は 2 月に
入ると水を吸い上げ始めます。チェーンソーで伐ると水がべしゃっとかか
るくらいに。見えないところにも一足お先に春が来てます。

森林施業 NPO法人



もり
森林の風

連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台 4 丁目 15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

報告 Report 平成24年度 NPO 法人森林の風総会を開催

平成25年3月23日(日)に平成24年度通常総会を開催しました。

議案につきまして平成25年度事業計画及び予算計画について満場一致で可決されました。

また、今回は役員改選の年にあたり、蒲田博会長(理事)、岡島俊雄監事の2名が退任、新理事として大石住夫、新監事として市川正之の2名が満場一致で選任されました。

総会終了後、新理事を含めて理事会を開催し、瀧口邦夫理事が会長に選任され平成25年度以降の会長、理事体制が下記のように決まりました。

会長(理事)	瀧口邦夫(新任)
理事	櫻井龍夫(留任)
理事	松永幸男(留任)
理事	大石住夫(新任)
理事	裏川照雄(留任)
監事	市川正之(新任)

平成25年度の課題

1. 認定NPO取得後の体制を具体化
2. 森林環境教育に対応できる人材の育成
3. 若手、新人会員の育成

などなど

会長退任の挨拶

蒲田博

平成21年11月から初代会長奥田さんの後を引き継ぎこの3月まで3年4ヶ月間、会長を務めさせていただきました。

この3年余りの間に、会の施業地は人工林のほか竹林、里山も加わり、企業の森、森林体験活動の指導、森林環境教育と事業内容も多彩になってきました。

会の活動スケジュールが過密になるなか、活動中には安全に十分注意していただき、これまで大きな怪我や事故がなかったことはひとえに会員の皆様のご協力のたまものと感謝しております。

これからも会の活動には積極的に参加していく所存ですのでよろしくお願い致します。

会長就任の挨拶

瀧口邦夫

このたび、NPO 法人として9年目を迎える森林の風の会長を受けることになりました。

設立当初から、実践林業と人材育成(育成講座、森林環境教育)の両輪で活動してきました。

前会長の蒲田さん時代からは、認定NPO法人の取得を目標として仮認定を受け、おかげさまで4ヶ月間で180件を超える賛助寄付も集まりました。これまで活動に参加・協力いただいた多くの方々をはじめ、林業家、企業、各自治体にお礼申し上げます。

また、会員の皆さんの努力と実践力が、森林の風の運営の大きな力となっています。

平成24年度には、会員及び参加者のレベルアップとして、林業家に施業技術指導を受けたり、KEEP協会・FEEJapanなど国内外で信頼ある団体の講師を招いて森林環境教育の指導法を学びました。知識・技術の習得には限りがありません。森林保全に向けての人材育成も急務です。

「共に学び、考える活動」を進めたいと考えます。今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。



平成 25 年度 NPO 法人森林の風事業計画

事業名	内容	実施時期・回数・延従事者数	受益対象者の範囲・延人数
1. 人工林総合施業			
・亀山市向井 F1 の森整備事業	間伐、作業道整備、定点観測、イベント準備 本田技研工業(株)森林保全活動イベント	15回 90名 2回(9月、3月) 20名	本田技研工業(株) 企業社員及び家族 80名
・企業の森技術指導事業 東芝の森	間伐、枝打ち 植栽等イベント実施	12回(10月～4月) 100名 1回[10/19(土)予定]	(株)東芝 企業社員及び家族 150名
・三重県民の森管理支援事業	人工林間伐、枝打ち、枯損木伐倒整理	5回(1月～3月) 30名	不特定来園者
・私有林整備事業	田光周辺での間伐	時期未定	森林所有者
・森林組合協働事業	間伐、枝打ち、植栽等	時期、詳細未定	森林所有者
2. 里山再生			
・企業の森技術指導事業 こもれびの森	雑木林間伐、歩道整備 イベント準備、開催	12回 100名 2回ほどの植栽	(株)NTN 企業社員及び家族 150名
・企業の森技術指導事業 憩いの杜	危険木の整備、道づくり、間伐、里山再生の考察 イベント実施	12回 100名 1回(秋頃)道づくり、低木間伐	TS テック(株) 企業社員及び家族 50名
3. 竹林整備			
・下大久保竹林整備事業 ・山之一色竹林整備事業	竹林整備。余材で竹ポット、竹杭製作	適時 50名	自治会 竹林所有者
4. 森林施業基礎研修会			
・まちのきこり人育成事業	まちのきこり人育成講座 まちのきこり人レベルアップ研修会	8回 80名 5回 8日 10名	一般 120名 会員・一般 60名
5. 森林活動体験研修会			
・みえぎん まなびの森事業	三重銀行・森林倶楽部との協働 育苗、キノコ育成、林内整備、まなびの森体験会 イベント準備、開催	24回(第2、第4日曜) 80名 2回 20名	(株)三重銀行 行員及び家族と森林倶楽部会員 120名 80名
・御在所岳ツツジ群落保全事業 中部電力「記念日植樹券プレゼント」事業 頂上に緑よ戻れ GOGO 植樹	ロープウェイで行く御在所植樹ツアー 企業、団体、個人によるイベント 企業、団体、個人による植樹活動	1回[6/2(日)予定] (準備、指導等8日) 40名 2回(準備、指導等2日) 20名 3回(準備、指導等3日) 30名	一般 80名 一般 100名 一般 100名
・桑名市ボランティア研修指導	多度山森林ボランティア指導	1回(2日) 10名	一般 30名
・桑名市多度中学間伐体験指導	多度中学1年生対象	1回(2日) 10名	多度中1年生 200名
・常盤西小学校学校林整備	学校林の整備指導(PTA)	1回 10名	児童及び保護者 120名
・森林環境教育	出前講座、工作教室など、随時	10回 50名	一般、児童 200名
・森林保全活動普及・啓発	フォーラムの開催など	3回 準備含め30名	会員・一般 100名
6. 間伐材の有効利用			
・間伐材、除伐材の搬出・利用	・間伐材の搬出、薪の作成、保管	12回 100名	一般 10名
7. その他管理事業			
・森林の風だより発行	・年間4回発行	12回 30名	
・管理・事務	会計、事務、打ち合わせ、種苗管理	随時 150名	
計	—	・200日 延べ1,200名以上	延べ1,700名以上

学ぶ 教える 考える

3/17



「里山講座」に参加して 【裏川】

桑名市の運動公園の裏手にある旧里山（放置林）へ岐阜県立森林文化アカデミーの横井教授を講師にお招きし、「里山の整備を考える勉強会」を開催しました。三重県の後援を受け、会員以外の方17名を含め総勢30名が参加しました。里山やそこに自生する樹木のことを勉強し、どのような施業がいいのかということで議論も交え一日を過ごしました。人工林とは違い、樹種の数や種類もたくさんあり、人々の想いを考えながら森を整備していく難しさを知らされました。3haほどの面積ですが、全体をひとつの森と考えずにエリア別に特徴のある山へと変化させていくというやり方もある、というヒントを提案していただいたと感じています。今後はどんな特徴をどのエリアで作りに出していくかということから取り組んでいく必要があるようです。

クリのイガで橋をつくる。

…痛い。

👉 木を箸にする。



キープ協会から川嶋直氏をお迎えして 【清水】

2/5

☀ 6

川嶋先生は話術やコミュニケーションについて長年考察・経験を積まれてきた「ファシリテーターの元祖」のようなお方です。先生の持つ数多くの引き出しから森林の風にふさわしいプログラムや考え方を伝授していただきました。森林の風の引き出しが増えるとともに、課題も提示、整理していただきました。マジック！



3/23

☀ 24

LEAF ローカルインストラクター研修会を終えて 【上林】

一般社団法人 FEE Japan (国際環境教育基金) による LEAF ローカルインストラクター研修会に参加させていただきました。昨年、まちのきこり人育成講座に始まりレベルアップ研修会やふだんの活動など、森林の風の様々な活動に参加し森林施業の大切さをいろいろと勉強、実習させていただきました。また、森林の風以外の環境教育等の講習会にもいくつか参加をして大量の情報をインプットしてきたのですが、今も残っているかという…？ゼイ肉だけが增加する今日この頃でした。

今回の研修会も意気込みだけで終わってしまうかと思っていたのですが、LEAF は違いました。

LEAF のプログラムは「森林についての知識と森林が生み出す製品と活動の価値について、若い世代の理解を深めること」で、森林教育を通じた体験と知識共有のプロセスを通じ、持続可能な社会に向けて自らかしい選択ができる人を育てることを目的としています。きれいな環境教育ではなく、森林の大切さを肌で感じ、知識を持ち、「経済的」「社会的」に考え、利用できる大人に育てるのです。

また、プログラムの実施にあたっては、「生徒が感じた様々な疑問に対し、解答を与えるのではなく、生徒が自ら答えを出せるよう(考えさせる)サポートする」となっており、森林の風の《2013 年度活動キャッチコピー》学ぶ 教える 考える にも通じるものがあり「良いぞ」と思えました。

研修会の中で、二日目の実践はプログラムの作成・実施が、なかなか良いアイデアが浮かばずとても苦労しました。しかし、参加した森林の風の方々は、「頭が固いからできない」とか「難しい」とか言っていた割には、朝一から皆さんなかなか素敵なプログラムを披露され、大変驚かされ、皆さんの底力を体感しました。そして、今回だけでも10個のプログラムが出来、また、そのすべてを楽しく実践することができました。

最後になりますが、私も皆さんに協力して LEAF を使った森林の風環境教育を実践していきたいと思っています。今後ともよろしく願います。



3/9



学 ぶ

教える

考える

平成 24 年度 NTN 森林保全活動

上は真っ青な空、多度のまちを眼下に春の陽射しをあびて、いずれ多様な樹種に囲まれ「木洩れ日の森」となるよう地拵えと植樹をしました。

… 植樹会 …

平成 24 年度 第 9 回 HONDA 森林保全活動

F1の森山頂のシカ害はひどく、皮を剥がれた木を倒し地拵えをしました。終わってみれば「こんなにも頑張ったー?!」というくらいすり鉢状の斜面に植樹地ができあがっていました。春の陽射しのもとで食べるお弁当サイコー!

3/16



SIDE 本の紹介 『森林飽和』

【清水】

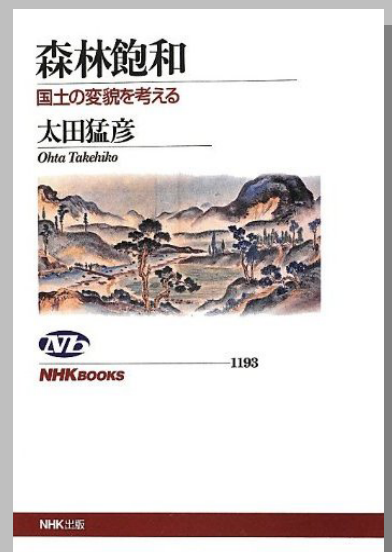
まずは東日本大震災における津波被害を検証し、津波被害における海岸林の役割、松林である理由、より効果的と思われる植栽、管理について述べられています。次に、エネルギーとしての利用を含め木が生活のあらゆる場面で利用されていた時代は、多くの山がともすとはげ山か草山であったため、川は天井川となり洪水の氾濫が多発し海岸沿いの飛砂被害は深刻であったと、多くの図や写真を通じて説明されています。そして、国内の木を伐って利用しなくなった現在は、量的に回復し質的に劣化している「森林飽和」の状態であり、それはそれでさまざまな被害をもたらす危険性がある、ということから、現状の課題と課題解決の方向性を示しています。

まだまだ多くの人々が「人間の開発による自然破壊から森を守らなければならない」という考えの延長上で「木を伐るのはよくない」というイメージを持っているため、『森林飽和』という書名はインパクトがあります。ネット上の書評では「これまでの里山に対するイメージを覆す」「目から鱗がぼろぼろ」といった驚きのコメントがならんでいます。

「かつての里地里山システムはそのすべてが持続可能な社会のお手本であったかのような錯覚」「現在と比べればかつての里山は一種の荒地生態系と言っても過言ではない」というようなセンセーショナルな記述もあるためです。

私の頭の中でも、「里山」という言葉の象徴する緑豊かでのどかなイメージが一気にハゲ山に変わる衝撃がありました。けれどもこれは、多少「オーバーじゃないかな?」という感じを残してでも、過去から現在への森林状況の変貌を読者にははっきり打ち出すためには必要な表現だったのかもしれない。

ちょっと演出がかってはいるけれど、森林を語るために水文学や砂防、治山、史実などあらゆる角度から全般的に網羅されているので、用語の復習をかねて「森林の小辞典」的に読めます。なぜ私たちは森林を守る活動をしているのか、せずにはおれないのか? 再確認できます。



研修に来ていただいた講師の先生方もきつと読んでらっしゃる!

森に来て ちょっとやって みませんか？

一句。

今後の活動予定(確定分)

日にち	場 所	内 容(学ぶこと)
4月16日	四日市市	竹林整備(チェンソー使用)
4月18日	四日市市	竹林整備(チェンソー使用)
4月21日	桑名市	歩道づくり
4月23日	四日市市	竹林整備(チェンソー使用)
4月25日	四日市市	竹林整備(チェンソー使用)
4月27日	菰野町	まちのきこり人育成講座③
4月28日	菰野町	まちのきこり人育成講座④
5月4日	菰野町	まちのきこり人育成講座⑤
5月9日	桑名市	里山整備(チェンソー使用)
5月11日	亀山市	海山交流会
5月12日	菰野町	林内整備

*以降はホームページでご覧下さい。

6/29 (土)

四日市市総合会館にて

水源の森 2010 から3年…

水源の森フォーラム 2013 ～林業は生き方だ！～

開催決定！詳細はホームページ、お問い合わせは下記まで。

◎事務局(瀧口)

四日市市三滝台 4-15-7

TEL & FAX: 059-321-7719

携帯: 090-9663-4088 (瀧口)

Mail: ktaki@m3.cty-net.ne.jp

または

◎担当(清水)

携帯: 090-3550-7041

Mail: shimizu.tamaki@gmail.com



・いずれも集合は8時30分です。参加費は保険代としてチェンソー使用の日は1,000円、それ以外は500円です。

・集合場所等はお問い合わせください。

・天候等により予定変更する場合があります(中止を含む)。

・参加申し込みは電話、FAX、メールで瀧口、清水まで。

・これまでに参加経験がある方は参加の旨のみ連絡いただければ結構です。



20代～40代若手のエントリーが多いですよ！！
どんな方たちがどんな思いを持って参加されるのでしょうか？

報告を楽しみにおまちください。

4～6月 [全8回] まちのきこり人育成講座

7～12月 [全5回] まちのきこり人レベルアップ研修会

7月 6日 刈り払い機、ナタ・カマの使用法

9月 7・8日 KOA 出前講座 測量を学ぶ

10月 5・6日 加子母村・森林学校訪問

11月 2・3日 諸戸トヨタの森・嘶野訪問

12月 1日 若手林業家を招いて

今年は！